

下水道BCP(地震編)

◆背景◆

- 近年の大規模地震を経験して、自らの被災を想定し、地域の衛生環境の維持と復旧・復興を勘案した対策計画の検討の必要性が認識されてきている。
- また、被災して下水道機能が低下した状況においても、重要な事業を中断させないことや、中断しても可能な限り短い期間で事業を再開することが求められている。

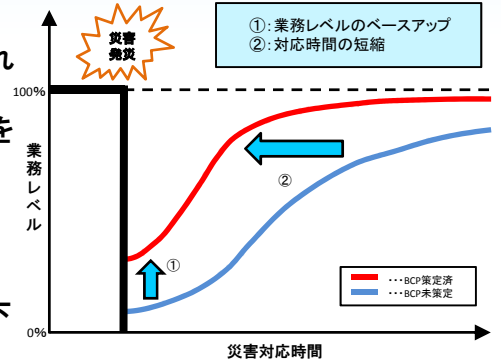


図 BCPの概念図
(出典: 下水道BCP策定マニュアル 一部改修)

◆下水道BCPとは?◆

- 下水道BCP(Business Continuity Plan)とは、大規模地震や津波により下水道施設等が被災した場合でも、従来よりも速やかに、かつ高いレベルで下水道が果たすべき機能を維持・回復することを目的とした計画。

◆概要◆

大規模地震発生時のヒト、モノ、ライフライン等が使用できない、不足する状況でも、できる限り早期に復旧させる。

【被害想定】

南海トラフ地震(最大震度6強)クラスの地震動に対して、下水道施設の被害状況を想定。

【優先実施業務の選定・対応の目標時間の設定】

災害時に優先的に何を行い、いつまでに何をすべきか整理。

【計画体系】

「非常時対応計画」、「事前対策計画」、「訓練・維持改善計画」の策定。

